

INON

イノン 45° ビューファインダーユニット II for X-2

イノン製品のお買い上げ有難う御座います。

イノン 45° ビューファインダーユニット II for X-2 は、対応する「イノン X-2」ハウジングシリーズに装着されている、同ファインダーユニットの保守部品となります。また、他ファインダーユニット装着済み「イノン X-2」への換装用オプション製品としても使用可能です。

製品の主な特徴

- カメラ単体でのファインダー像の大きさを変えずに（倍率 1.0 倍）アスペクトを伸ばし、マスク越しでも全視野がわかることなく、ファインダー像を見ることができます。
- 接眼部は、カメラの光軸と 45° 角度が付いており、砂地のハネなど、低い位置に居る被写体の撮影時に威力を発揮します。また、接眼部自体が 360° すばやく回転できるので、縦位置でのローアングル撮影などでも問題なく使用できます。
- 余裕を持った入射瞳径や高屈折率全反射プリズム/減反射コーティングの採用で、明るいファインダー像を実現しています。
- カメラのファインダー視度調整を超えた遠視や老眼のユーザー用に、別売オプションで内蔵型の視度補正レンズ（+1.5D）をラインナップしています。（後述）

製品内訳	・	45° ビューファインダーユニット II 本体 ①	×1
	・	レンズキャップ ②	×1
	・	予備 O リング ③	×1

対応ハウジング	・	イノン X-2 for EOS10D ～ EOS80D
	・	イノン X-2 for EOS6D

(2019 年 7 月現在)



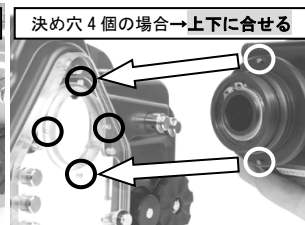
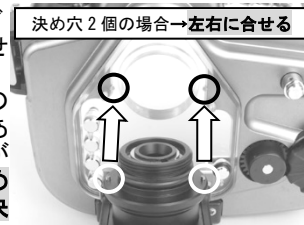
- 他ユニットの取り外し
- ・ X-2 リアボディにファインダーユニット本体を固定している“ファインダーユニット固定ネジ環”の四方に切っただけある『溝』を確認します (a、画像は 45° ビューファインダーユニットの物です)。
 - ・ この溝に X-2 付属の“X-2 ファインダーユニット専用工具”の『ピン』を嵌め、反時計方向にゆっくり回して (b) “ファインダーユニット固定ネジ環”を外した後 (c)、X-2 リアボディの“O リング面”を傷つけない様に、ファインダー本体をまっすぐに取り外します (d)。
 - ・ X-2 リアボディの“O リング面”にキズや異物の付着等がないかを確認します (e)。



- 組み付け前の準備
- ・ 45° ビューファインダーユニット本体のカメラ取付側にある、O リング / O リング溝にキズや異物の付着等がないか、X-2 への組み付けを行う前に必ず点検を行って下さい。
 - ・ 実際の点検は、X-2 付属の使用説明書内、「浸水を起こさない為に」をご確認の上、まずは O リングをセットした状態のまま行って下さい。必要に応じて、X-2 付属のイングリスを指先に少量取り、O リングの盛り上がった部分に薄く塗り伸ばして下さい (i)。
 - ・ O リングを着脱/交換する必要がある場合には、下記の要領で行って下さい。
O リングを左右から寄せて、持ち上がった部分をつまんでゆっくりと外した後 (f)、O リング、及び O リング溝に、傷や異物の無い事を確認して下さい (g、h)。X-2 付属のイングリスを指先に少量取り、O リングに薄く均一に塗り伸ばして下さい (h)。O リングを交換する必要がある場合には、付属品の予備 O リングを同様に準備して下さい。O リングにねじれない様に O リング溝に戻した後、今一度 O リング全体にねじれない事を確認して下さい (i)。



- 組み付け方法** : 「他ユニットの取り外し」と逆の手順にて、X-2 リバディに 45° ビューファインダー-ユニット本体を取り付けます。
- 右画像の通り、X-2 リバディの“決め穴”と、45° ビューファインダー-ユニット本体の“回転止めピン”とを合わせて、取り付ける必要があります。
 - X-2 リバディの“決め穴”には、『左右計 2 個』の場合と、『上下左右計 4 個』の場合の 2 通りがありますので、お手元の X-2 リバディの“決め穴”が『左右計 2 個』の場合はそのまま**左右の“決め穴”**に、『上下左右計 4 個』の場合には**上下の“決め穴”**に合わせて取り付けて下さい。

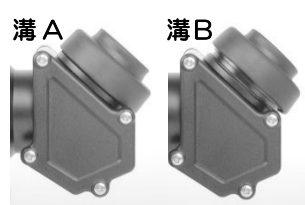
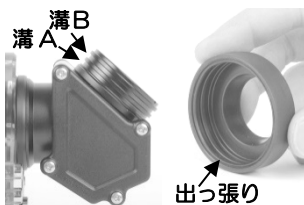
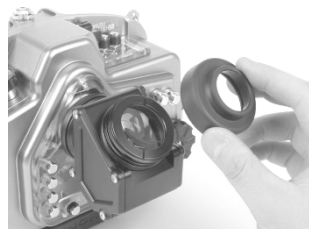


この際、X-2 リバディの“O リング 面”、およびファインダー-ユニットの“O リング”を傷つけない様に、ゆっくりとまっすぐに取り付けを行って下さい。また、“ファインダー-ユニット固定ネジ 環”を締め付けすぎないようにご注意下さい。ファインダー-ユニットが取り外せなくなったり、X-2 リバディが破損したりする可能性があります。

- 組み付け後の確認について** : ご使用になる前には、45° ビューファインダー-ユニット本体と X-2 との間が気密に保たれている事を確認する為、**必ず、清浄な真水 (30° 以下) を満たした風呂等に、組み付け後の X-2 を沈めて静置し、浸水が無い事を確認して下さい。**従来のハジツンと異なり、お客様による手軽なファインダー-交換が可能である一方、ファインダー-交換を行わない場合であっても、“ファインダー-ユニット固定ネジ 環”の緩みなどが発生し、意図せぬ浸水/落下などの事故に直結する可能性がある事に十分ご注意の上、**毎回の使用前に必ず増し締めを行って下さい。**

- ご使用前の調節について** : 実際の撮影を行う前に、最もファインダー-像が見やすい位置でマスクの位置を固定出来る様、**お手元のマスクに合わせて、アイカップの位置を調節して頂く必要があります。**

- 45° ビューファインダー-ユニット本体から、アイカップを剥く様にして取り外します。
- アイカップ 側にある『出っ張り』を、45° ビューファインダー-ユニット本体側の『溝 A』 / 『溝 B』 どちらに嵌めるかで、アイカップを下記 2 パターンの深さに固定出来ます。
- ご使用のマスクを実際に装着した後、水中でのご使用時と同じ様に、マスクのレンズ面をアイカップにぴったりと密着させて、実際のファインダー-像を確認します。『溝 A』 / 『溝 B』のいずれか、より見やすい位置にアイカップを固定して下さい。



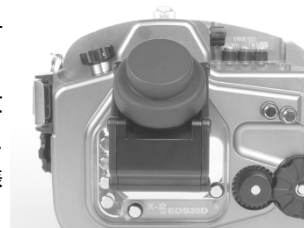
殆どのマスクでは、『溝 A』を使用する事でよい結果が得られます。但し、レンズ面と、目との距離が極端に短い、一部のマスクをご使用の場合には、『溝 B』を使用の方が良い場合もあります。

- 取り扱いについて** : ご使用時/ご使用後の取り扱いについて、X-2 の使用説明書に記載の注意点に加えて、下記項目をお守り下さい。

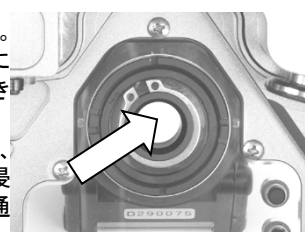
- 45° ビューファインダー-ユニット本体はゆっくりと回転させて下さい**
45° ビューファインダー-ユニット本体の回転操作は、必要最低限の速度で、ゆっくりと行なって下さい。必要以上に速い速度で操作を行うと、内部 O リングが振れたり傷ついたりして、浸水事故を引き起す可能性があります。
操作に必要な力が大きくなってきたり (操作が硬くなってきたり)、可動部に砂が噛み込んでしまった場合等、調子が悪い時には、ご購入店を通して、点検/修理をご依頼下さい。



- 太陽光が直接入射しない様にして下さい**
カメラ本体にダメージを与える可能性がある為、直射日光が入射しない様にして下さい。
下図の通り、付属のレンズキャップを被せる (45° ビューファインダー-ユニット本体が乾燥している場合のみ可能) か、45° ビューファインダー-ユニット本体の接眼レンズを下向きに回転させ、太陽光が直接入射しない様にする事をお勧めします。



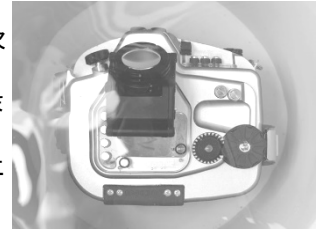
- 内部に水分/異物等を入れないで下さい**
45° ビューファインダー-ユニット本体のカメラ取付側は、防水/防塵構造となっておりません。水分や異物等の侵入を防ぐため、X-2 内部を、常に異物等の無いきれいな状態にしておくと共に、X-2 リバディ着脱の際には、十分ご注意下さい。特に、水しぶきの掛かる場所や湿気の多い環境での X-2 リバディの着脱は極力避けて下さい。やむを得ず着脱を行う場合は、45° ビューファインダー-ユニット本体を組み付けたまま、X-2 を真水で良く洗い、十分に水分を拭き取ってから、内部に水分/異物等が浸入しない様行なって下さい。内部に水分/異物等が入った場合は、ご購入店を通して、修理をご依頼下さい。



- 分解しないで下さい**
45° ビューファインダー-ユニットは、高度な技術で組み立てられております。故障、水没事故等の原因となりますので、絶対に分解しないで下さい。故障した時や調子が悪い時には、ご購入店を通して、修理をご依頼下さい。弊社以外で修理、分解、改造等が行われた製品は、弊社保証範囲外となります。また、当該行為が原因で発生した損害についての補償は致しかねます。

ご使用後のメンテナンス
に関して

ご使用後は、必ずアイカップを外してから、X-2 本体と共に、塩抜きを行って下さい。
塩抜きを行った後は、45° ビューファインダーユニット本体の接眼レンズの水滴をエタノール等で吹き飛ばし、必ず接眼レンズ面に水滴が残っていない事を確認して下さい。
そのままの状態、直射日光の当たらない、風通しの良い場所に置き、乾燥させます(完全乾燥には数日掛かります)。
アイカップは、45° ビューファインダーユニット本体を完全に乾燥させた後、アイカップ自身も完全に乾燥している事を確認してから元に戻します。



保管方法に関して

上記メンテナンス後、レンズキャップを被せ、X-2 本体と同様の条件で保管します。

オプション / 保守部品
について

- ・ レンズキャップ (45° ビューファインダーユニット/ストレートビューファインダーユニット for X-2 用)
製品内訳画像中の②です。
- ・ 交換用 O リング (45° ビューファインダーユニット/ストレートビューファインダーユニット for X-2 用)
製品内訳画像中の③です。
バックアップファインダーユニット/ファインダーユニットの交換用 O リングとしては使用出来ません。十分ご留意下さい。
- ・ 視度補正レンズ [+1.5D] for 45VF-II/STVF-II
カメラのファインダー視度調整範囲を超えて遠視や老眼の方に、調整範囲を(+1.5 ディオプター)シフトする視度補正レンズ。本ファインダーのマウント側の穴へ落とし、付属の工具で締めて固定します。(水中での着脱不可)



- ・ X-2 ファインダーユニット専用工具
対応する「X-2」ハウジングシリーズへ、本製品の着脱を行うための専用工具です。
2006 年 10 月 16 日(月)以降出荷分の、各ファインダーユニットの取り付けに対応した「X-2」ハウジングシリーズには、当専用工具が予め『付属します』。
また、2006 年 10 月 15 日(日)以前に、各ファインダーユニットの取り付けに対応した「X-2」ハウジングシリーズをご購入されたユーザー様には、当専用工具を『無償』で送付させていただきます(※)。
つまり、「X-2」ハウジングシリーズをご購入されたユーザー様は、基本的に本専用工具を別途購入する必要はありません。ご留意下さい。



(※) Fax / E-mail にて、お名前/ご住所/電話番号と共に、「X-2」シリーズハウジング製品に添付された保証書の写しを、本ページの宛先までお送り下さい。

オプションの入手方法に
ついて

- ・ メンテナンス作業や部品の紛失/消耗等により、上記のオプション(保守部品)がご入用の場合には、お届け先が日本国内の場合に限り、販売店経由のほか、弊社より直接ご購入頂けます。
a) 必要なオプション名、b) 個数、c) お届け先ご住所、d) ご連絡先の電話番号、e) お支払方法(下記 3 つのいずれか)、f) お届け希望日時(指定可能な場合)をご指示頂き、Fax / E-mail / 郵送にて、下記宛先まで直接ご注文下さい。
 - i) 代金引換え宅急便でのお届け
 - ii) 現金書留/国内郵便為替にて代金をお支払い頂いた後、郵送/メール便/通常宅配便にてお届け
 - iii) (ご注文品合計額が税込¥2,000-未満の場合)お支払金額相当額面の切手を弊社に郵送して頂いた後、郵送/メール便/通常宅配便にてお届け

お支払い頂く金額は、以下のようになります。

{ (オプションの合計金額) + (送料/梱包費※) } × 1.1 (消費税率)

- ※ i) の場合:
- | | |
|---------|--|
| ¥1,000- | (お届け先が北海道/九州/沖縄地区で、商品価格が税込¥10,000-未満の場合) |
| ¥600- | (お届け先が上記以外の地区で、商品価格が税込¥10,000-未満の場合) |
| ¥0- | (商品価格が税込¥10,000-以上の場合[弊社負担]) |
- ii) / iii) の場合: ¥1,000-
- | | |
|---------|---|
| ¥1,000- | (お届け先が北海道/九州/沖縄地区で、通常宅配便にて送付可能な商品サイズの場合。詳細はお問い合わせ下さい) |
| ¥600- | (お届け先が上記以外地区で、通常宅配便にて送付可能な商品サイズの場合。詳細はお問い合わせ下さい) |
| ¥110- | (郵送/メール便にて送付可能な商品サイズの場合。詳細はお問い合わせ下さい) |
| ¥0- | (商品価格が税込¥10,000-以上の場合[弊社負担]) |

「i) の場合」、あるいは「ii) / iii) で通常宅配便でのお届けの場合」のみ、お届けの日時をご指定頂く事が可能です。お届けの時間指定は、以下6つからお選び頂けます。

1. 希望なし / 2. 午前中 / 3. 14時~16時 / 4. 16時~18時 / 5. 18時~20時 / 6. 20時~21時

イノン X-2 ファインダーユニットシリーズ 主要性能 (*1)	
名称	45° ビューファインダーユニット II for X-2
全長 / 全幅 / 高さ (*2)	91.5mm / 57.5mm / 81.0mm
重量 (*2) [陸上]	332g
本体材質 / 表面処理	耐蝕アルミ合金 / 硬質黒アルマイト、ABS等
硝材 / 表面処理	光学ガラス / 減反射コーティング
レンズ構成 / 倍率	3群5枚 (+高屈折率全反射プリズム1枚) / 1.0
*1 性能、価格等、予告なしに変更する場合があります。予めご了承下さい。	
*2 アイカップを含み、レンズキャップを除く	

株式会社 イノン 〒247-0061 神奈川県鎌倉市台 2-18-9
Tel. 0467-48-2174 / Fax. 0467-48-2178
E-mail support@inon.co.jp / URL <http://www.inon.co.jp/>
2019 年 7 月

INON

X-2

使用説明書 45°ビューファインダーⅡ 仕様追記

この度は、イノンハウジングのお買い上げ誠に有難う御座います。
本X-2は、「45°ビューファインダーⅡ」仕様となります。
この追記では、ご使用前のビューファインダー部の調節方法、ご使用時/ご使用後の注意点等について説明します。
X-2 使用説明書本編と合わせ、良くご確認ください。

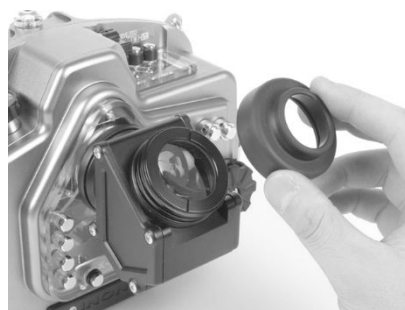
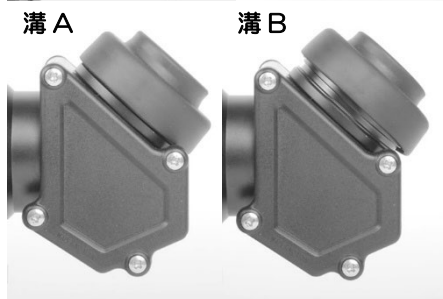
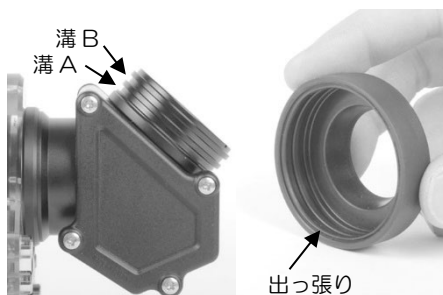
ご使用前の調節

イノンX-2 に装備された『45° ビューファインダーユニットⅡ』（以下「ファインダー」と記述）は、カメラ単体のファインダーを覗いた時と同じ大きさのまま、アイポイントを延長して、マスク越しでもファインダー像全体をケラしなく見る事が出来るアングルファインダーです。

実際の撮影時に、お手元のマスクによって異なる、最もファインダー像が見やすい位置でマスクの位置を固定出来る様、アイカップの位置を調節して頂く必要があります。

アイカップ位置の調節方法

- ① 「ファインダー本体」から、アイカップを剥く様にして取り外します。



- ② アイカップ側にある『出っ張り』を、「ファインダー本体」側の『溝 A』 / 『溝 B』どちらに嵌めるかで、アイカップを下記 2 パターンの深さに固定出来ます。

- ③ ご使用のマスクを実際に装着した後、水中でのご使用時と同じ様に、マスクのレンズ面をアイカップにぴったりと密着させて、実際のファインダー像を確認します。『溝 A』 / 『溝 B』のいずれか、より見やすい位置にアイカップを固定して下さい。

殆どのマスクでは、『溝 A』を使用する事でよい結果が得られます。但し、レンズ面と、目との距離が極端に短い、一部のマスクをご使用の場合には、『溝 B』を使用する方が良い場合もあります。

ご使用時/ご使用後の注意点

X-2 の使用説明書に記載の注意点に加えて、下記の項目をお守り下さい。

取り扱いに関して

● 「ファインダー」の接眼部はゆっくりと操作して下さい

「ファインダー」接眼部の回転操作は、必要最低限の速度で、ゆっくりと行って下さい。

必要以上に速い速度で操作を行うと、O リングが振れたり傷ついたりして、浸水事故を引き起す可能性があります。

操作に必要な力が大きくなってきたり(操作が硬くなってきたり)、可動部に砂が噛み込んでしまった場合等、調子が悪い時には、ご購入店を通して、点検/修理をご依頼下さい。



● 太陽光が直接入射しない様にして下さい

カメラ本体にダメージを与える可能性がある為、直射日光が入射しない様にして下さい。

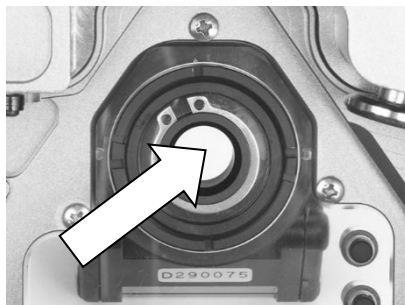
下図の通り、付属のレンズキャップを被せる(「ファインダー」が乾燥している場合のみ可能)か、ファインダー接眼部を下向きに回転させ、太陽光が直接入射しない様にする事をお勧めします。



● 「ファインダー」内部に水分/異物等を入れないで下さい

「ファインダー」のカメラ取り付け側は、防水/防塵構造になっていません。水分や異物等の侵入を防ぐため、X-2 内部を、常に異物等の無いきれいな状態にしておくと共に、X-2 リアボディ着脱の際には、十分ご注意ください。特に、水しぶきの掛かる場所や湿気の多い環境での X-2 リアボディの着脱は極力避けて下さい。

やむを得ず着脱を行う場合は、X-2 を真水で良く洗い、十分に水分を拭き取ってから、内部に水分/異物等が浸入しない様行なって下さい。内部に水分/異物等が入った場合は、ご購入店を通して、修理をご依頼下さい。



● 「ファインダー」を分解しないで下さい

「ファインダー」自体は、高度な技術で組み立てられています。故障、水没事故等の原因となりますので、絶対に分解しないで下さい。故障した時や調子が悪い時には、ご購入店を通して、修理をご依頼下さい。

ご使用後のメンテナンスに関して

ご使用後は、必ずアイカップを外してから、X-2 本体と共に、塩抜きを行って下さい。

塩抜きを行った後は、「ファインダー」の水滴をエアガン等で吹き飛ばし、必ず**レンズ面に水滴が残っていない事を確認して下さい**！

そのままの状態、直射日光の当たらない、風通しの良い場所に置き、乾燥させます(完全乾燥には数日掛かります)。

アイカップは、「ファインダー」を完全に乾燥させた後、アイカップ自身も完全に乾燥している事を確認してから元に戻します。



保管方法に関して

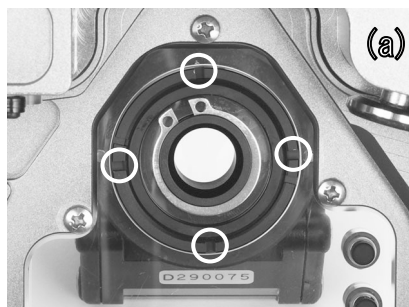
上記メンテナンス後、レンズキャップを被せ、X-2 と同様の条件で保管します。

付録：「ファインダー」の着脱方法について

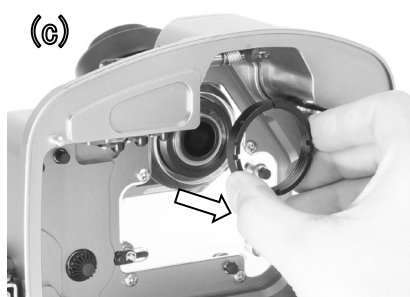
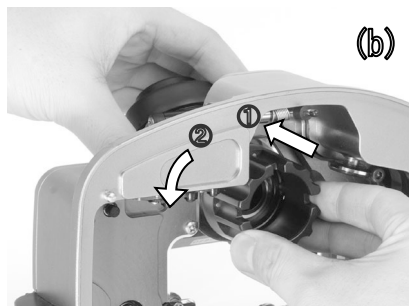
「ファインダー」は、他の「ファインダー」への換装等を行なえる様、ユーザー様自身で着脱可能な構造となっています。実際に「ファインダー」部分の着脱を行う場合は、浸水等の不具合を防ぐ為、以降の想定手順に従い、確実にこなして下さい。

「ファインダー」の取り外し

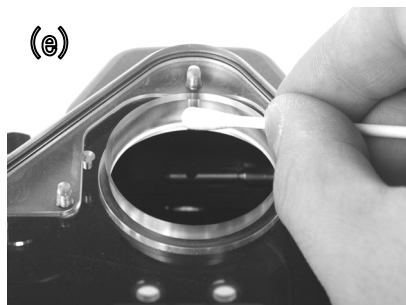
- ① X-2 リアボディに「ファインダー」を固定している“ファインダーユニット固定ネジ環”の四方に切っある『溝』[画像(a)]を確認します。



- ② この『溝』にX-2 付属の“X-2 ファインダーユニット専用工具”の『ピン』を嵌め[画像(b)①]、反時計方向にゆっくり回して[画像(b)②]“ファインダーユニット固定ネジ環”を外した後[画像(c)]、X-2 リアボディの“Oリング面”を傷つけない様に、「ファインダー」をまっすぐに取り外します[画像(d)]。



- ③ X-2 リアボディの“O リング面”にキズ
や異物の付着等がないかを確認します[画
像(e)].



「ファインダー」の取り付け【取り付け前の準備】

- ① 「ファインダー」のハウジング取り付け側にある、Oリング/Oリング溝にキズや異物の付着等がないか、X-2 への組み付けを行う前に必ず点検を行って下さい。

実際の点検は、X-2 付属の使用説明書内、「浸水を起こさない為に」をご確認の上、先ずは O リングをセットした状態のまま行って下さい。必要に応じて、X-2 付属のイノングリスを指先に少量取り、O リングの盛り上がった部分に薄く塗り伸ばして下さい。

- ② O リングを着脱/交換する必要がある場合には、下記の要領で行って下さい。

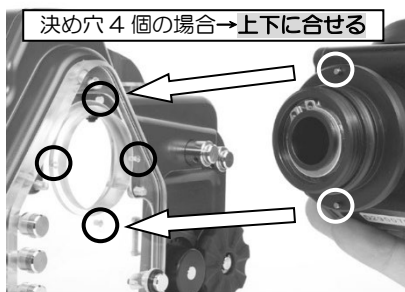
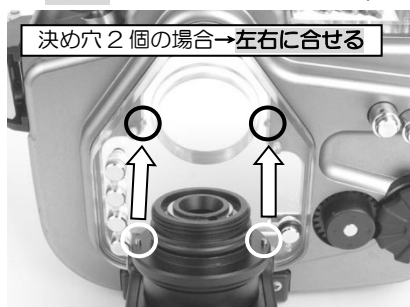
O リングを左右から寄せて[画像(f)、持ち上がった部分をつまんでゆっくりと外した後、O リング、及び O リング溝に、傷や異物の無い事を確認して下さい[画像(g)/(h)]。X-2 付属のイノングリスを指先に少量取り、O リングに薄く均一に塗り伸ばして下さい。O リングを交換する必要がある場合には、交換用 O リング(保守部品、別売)を別途準備して下さい。O リングにねじれない様に O リング溝に戻した後、今一度 O リング全体にねじれない事を確認して下さい[画像(i)]。





「ファインダー」の取り付け【取り付け方法】

- ① “「ファインダー」の取り外し”と逆の手順にて、X-2 リアボディに取り付けます。
下画像の通り、X-2 リアボディの“決め穴”と、「ファインダー本体」の“回転止めピン”とを合わせて、取り付ける必要があります。
- ② X-2 リアボディの“決め穴”には、『左右計 2 個』の場合と、『上下左右計 4 個』の場合の 2 通りがありますので、お手元の X-2 リアボディの“決め穴”が『左右計 2 個』の場合はそのまま**左右の“決め穴”**に、『上下左右計 4 個』の場合には**上下の“決め穴”**に合わせて取り付けて下さい。



この際、X-2 リアボディの“O リング面”、および「ファインダー」の“O リング”を傷つけない様に、ゆっくりとまっすぐに取り付けを行って下さい。また、“ファインダーユニット固定ネジ環”を締め付けすぎない様にご注意下さい。「ファインダー」が取り外せなくなったり、X-2 リアボディが破損したりする可能性があります。

「ファインダー」の取り付け後の確認

「ファインダー」の着脱を行なった後は、「ファインダー」と X-2 との間が気密に保たれている事を確認する為、ご使用前に必ず、清浄な真水(30° 以下)を満たした風呂等に、組み付け後のX-2 を沈めて静置し、浸水が無い事を確認して下さい。

X-2 のファインダー部は、従来のハウジングと異なり、お客様による手軽な交換が可能である一方、交換を行なわない場合であっても、ネジの緩みなどが発生し、意図せぬ浸水/落下などの事故に直結する可能性がある事に十分ご留意の上、毎回の使用前に必ず増し締めを行って下さい。

オプション / 保守部品について

・ 交換用 O リング (45° ビューファインダーユニット/

ストレートビューファインダーユニット for X-2 用)

45° ビューファインダーユニット/ストレートビューファインダーユニット専用の交換用 O リングです。

ピックアップファインダーユニット / ファインダーウィンドウユニットの交換用 O リングとしては使用出来ません。十分ご留意下さい。

・ レンズキャップ (45° ビューファインダーユニット/

ストレートビューファインダーユニット for X-2 用)

ファインダーの接眼レンズ面を保護したり、ファインダー側から不要光が進入する事を防ぎます。

・ 視度補正レンズ [+1.5D] for 45VF-II/STVF-II

カメラのファインダー視度調整範囲を超えて遠視
や老眼の方に、調整範囲を(+1.5 ディオプター)
シフトする視度補正レンズ。本ファインダーのマウ
ント側の穴へ落とし、付属の工具で締めて固定しま
す。(水中での着脱不可)



株式会社 イノン 〒247-0061 神奈川県鎌倉市台 2-18-9
Tel. 0467-48-2174 / Fax. 0467-48-2178
E-mail support@inon.co.jp / URL <http://www.inon.co.jp/>

2019 年 7 月

—— ファインダーの視度調整について ——

陸上は明るいので目の瞳孔は絞られており、被写界深度が深い状態です。この状態でファインダーの視度調整をしても、被写界深度内でセットしているだけであり“ジャスピン”ではありません。

これに対し暗い水中に入ると、瞳孔(絞り)は徐々に開いて被写界深度が浅くなり、結果的にピント調整機能が衰えた老眼の方はファインダー像が見えなくなります。個人差や年齢にもよりますが、暗順応で瞳孔が開くまで 15 分前後かかります。

水中より暗い陸上の部屋で、かつ瞳孔が開くまで 15 分ぐらい待ってから、カメラのファインダー視度調整をすれば、そこが“ジャスピン”となり、暗い水中で瞳孔が開いてもピントを合わせることができます。

適切な方法で事前に陸上で視度調整を行えば、高価となる水中での視度調整機能は必要ありません。
